● ブルキナファソ避難民支援 ●

引き続きご支援をお願いします！

- 日本ではほとんど報道されていませんが、西アフリカのサヘル地域を中心とする国々（マリ、ニジェール、ブルキナファソ等）ではここ数年、武装勢力によるテロ活動が激化しており、多くの犠牲者が出ています。

- ブルキナファソでは、2015 年頃から村々への襲撃や略奪が急増しており、現在では国土の 4 割以上が武装勢力の支配下にあると見なされています。このため、国民の 1 割弱にあたる約 200 万人が居住地を追われて難民化しています。

土地を追われ、着の身着のままで避難せざるを得ない人々も少なくありません。

- 2023 年 3 月、ブルキナファソ政府は「武装勢力の完全掃討」を掲げ、全国 45 県中の 22 県に対して「非常事態宣言」を発令しました。現在、村々では青年層を中心とした「祖国防衛志願兵」を組織して武装勢力に当たっています。

- 「緑のサヘル」が活動している地域の中心、コングシ市に逃げ込む村々の住民、他地域からの避難民はその後も数を増やしつつあり、既に 2 万 4,000 人を越えました。（当該地域は、日本政府によって最も危険度が高い「退避勧告」地域に指定されています）

コングシ市の入口には、避難民による長蛇の列が出来ています。

- これらの人々は、市内 20 か所に分散して避難生活を送っていますが、食料や生活用品の不足によって困窮を極めています。現地は雨季の只中にあり、避難民の体力低下と衛生悪化による疾病の蔓延が懸念されています（そのうち６割は子どもたちです）。

写真奥に見える白いテント群が、避難民のための仮設キャンプです。

- 「緑のサヘル」は現地 NGO である AJPEE（環境畜産保全青年協会）と協力し、避難民と生活困窮者を対象とした炊き出しや、食料の配布を始めていますが、資金的な問題のため充分な活動が行なえていません。引き続き、皆様からのご寄付を募っています！

ご寄付の振込先

郵便振替口座　00120－7－419488　緑のサヘル

※ニュースレターに振込用紙が同封されている場合は、そのままご利用いただけます。